

○議長（河野）13番、井上博道君。

○13番（井上）はい。

○議長（河野）井上君。

○13番（井上）それでは通告に従いまして、質問をさせていただきます。

「ダム中間地域の安心と安全について」。

綾川の洪水調節と、流水の正常な機能維持のため、長柄ダム再開発事業が進められています。再開発後の総貯水量は現在の2倍余となり、ダムも現在より約15m高くなり、治水・利水共に機能の大幅な向上が期待されます。古より、「水を治める者は国を治める。善く国を治める者は、必ずまず水を治める」と言われます。

さて、平成16年(2004年)10月の台風23号では、本町でも大きな水害があったのは記憶に新しいところです。長柄ダムと府中ダムの中間辺りにある、本町北西部の綾川流域の住民の素朴な疑問(心配)は、「上の長柄ダムだけが更に大きくなるのに、下の府中ダムが水を抜かなかつたら、水を抜くのが遅れたら、どうなるのだろうか?」ということです。

当該地域住民の安心と安全、延いては綾川流域全体の安心と安全を担保するため、関連問題も含めて4点の質問をさせていただきます。常体での質問で失礼しますが、本町の見解をお聞かせ願います。

- 1、平成16年10月の台風では、府中ダム方面から、上流の白髪淵方面へ水が逆流して、大変危険な状態だったとの目撃情報がある。今後の安心と安全を考えた場合、本件逆流の原因追及、分析、総括が必要である。改めて、本町の取り組み内容と見解をそれぞれ伺う。
- 2、ダム貯水量増加に伴い、相応の河道断面積が必要になると考えられる。河道を拡幅できない以上、河床の土砂等の一層の浚渫(掘削)と、中州等の雑木伐採が必要になる。綾川の現在の浚渫頻度・程度、中州等の樹木伐採頻度・程度はどのようになっているのか。護岸整備、堤の嵩上げ、引堤の実績と計画はどうか。また、長柄ダム再開発後の定期的河床浚渫、雑木伐採等はどのように考えているのか。綾川中流域(特に、牛川、羽床上、羽床下、小野地区)での溢水が非常に心配である。
- 3、町道白石線の武徳沈下橋は、大雨の度に大小の漂流物が橋脚と橋桁に引っ掛かり、白髪淵の大屈曲に加えて、綾川の流水を阻害する一因となっていた。綾川大規模特定河川事業にて、武徳沈下橋の架け替え準備が進んでいるが、新しい橋脚・橋台自身が流水を阻害しないよう、断面形状や大きさ等は十分に検討されているのか。また、念のために伺うが、架け替えに伴い、現在の沈下橋は完全に撤去するのだろうか。
- 4、再開発工事に伴い、長柄湖周辺のかんりの地域が水没する。廃棄物規制が現在ほどは厳しくなかった昔、どこに何が、どれだけ埋められたかを知ることは難しいと思われる。清流綾川の名前を冠する本町として、綾川の源流とも言える長柄湖に、水没地域又は・及び水没地域近傍に埋められたかもしれない有毒物質が長柄湖に染み出て、下流域住民に健康被害を引き起こす危険性も考えられるが、問題は無いと明言できるか。

埋立物の種類、埋立場所、綾川水質、地域住民健康状況の現在までの調査及び検証状況を伺いたい。

長柄ダムと府中ダムに挟まれた中流域は、特有の危険性を抱えています。洪水リスクの増加、生態環境への影響、両方のダム操作に依存した道路・灌漑設備等のインフラへの影響、家屋や財産の損壊、農作物被害等の社会的・経済的影響等、様々な危険に晒されています。両ダムの管理、調整、連絡ミスは絶対に許されません。

以上、ダム中間地域の安心と安全についての本町の見解をお聞きして、私の質問を終わります。

○議長（河野） 前田町長。

○町長（前田） はい、議長。

○議長（河野） 町長。

○町長（前田） はい、議長。

○町長（前田） ご質問にお答えをいたします。

まず1点目の、府中ダム方面からの逆流につきましては、事実確認までには至っておりませんが、町としての見解を申し上げることはできないものと考えております。しかし、長柄ダム及び府中ダムでは、令和2年から洪水発生時における被害防止・軽減を目的とした事前放流の運用を開始しており、それぞれの管理者において適切な管理体制のもと、運用されているものと考えております。町といたしましては、引き続き、流域内でのより緊密なダム間連携を、香川県や香川県広域水道企業団に求めてまいります。

次に2点目の河床整理などの対策についてであります。県では「中讃ブロック流域治水プロジェクト」の中で、長柄ダム再開発事業並びに綾川河川改修工事や河床整理を、重点的に実施する対策として位置付けております。

河床整理や立竹木の伐採につきましては、国が取りまとめた平成30年の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」や、令和2年の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」による予算を活用し、令和元年度から継続的に実施がされております。また、護岸整備などにつきましては、「綾川水系河川整備計画」に基づき、河川改修工事が進められており、順次、整備が行われていると聞いております。

町としましては、河床整理や立竹木の伐採など、流水の正常な機能維持のために必要な対策に関しては、ダム再開発事業の完了前後を問わず、引き続き計画的な実施を、町村会などを通じまして県に要望してまいります。

3点目の、架け替え後の武徳橋の流水阻害などに対する検討についてであります。新たな武徳橋については、県において、国の定める「河川管理施設等構造令」に基づき設計がされており、十分な検討がなされていると考えております。なお、架け替え後は、現在の武徳橋は撤去することとなります。

最後に4点目の水質汚濁に対する対応であります。事業用地となる民有地などは、境界立会の際に現地確認をしており、現時点で問題となるような埋め立て物については確認がされていないと聞いております。県においてはダムを含む公共用水域等の水

質測定計画を作成し、水質測定及び結果の公表を行っております。長柄ダムに関しましても、年3回の水質測定を実施しており、再開後これが継続されてまいります。人の健康や生活環境に係る被害を未然に防ぐためにも、定期的、継続的な監視は重要であることから、県と連携・協力しながら、測定結果について注視をしております。長柄ダム再開事業につきましては、既設の堤体を15mでなくして、13mの嵩上げでございます。約13メートル嵩上げし、総貯水容量を約2.2倍とするものであり、昨年から用地買収や町道の付替工事など、着実な進捗が図られているところであります。

また、綾川における府中ダムより上流の綾歌工区の河川改修工事につきましても、令和元年度から国の個別補助事業であります大規模特定河川事業の事業採択を受け、重点的な整備が行われております。

いずれの事業も、沿川住民の安全と安心を守る上で、大変重要なものであると考えております。町といたしましても、早期の事業完了に向けて取り組んでまいりたいことを申し上げ、答弁とさせていただきます。

○議長（河野）再質問はございませんか。

○13番（井上）はい。再質問あります。

○議長（河野）井上君。

○13番（井上）何点かございます。

まず1番目に関連して、白髪淵への逆流を確認していないという答弁だったと思いますが、これは私近いということもあるんですけども、大雨のたびに白髪淵、あるいは前後ですね、パトロールしておるんですけども、非常にちょっと危険っていうか、かなり恐怖を感じる状況ではあります。

平成16年のときも、見た人から私直接聞いてるんですけども、こういう綾川の形状を考えると、もう私前から何回も質問するというか、問題に挙げてるんで、認識はしていただいていると思うんですけども、綾川においては特に白髪淵、航空写真で見ても1発でわかりますけども、あれだけ大屈曲して危ないところ、雨、大雨のたびに危険な状況になるところを全然、町が現状確認してないというか、少しは見られたかもしれませんが、十分な調査をしてないというのは、これはもう非常に問題だと思うんですけども、先般の台風1号のときもかなり水が出ましたけども、今後ですね、もうちょっと真面目にですね、今は不真面目とは言いませんが、もっと気を引き締めてですね、特に白髪淵だけじゃございませんが、かなり危ないところもございまして、今後、十分に見ていただきたいというのと、それについてちょっと考えをお聞かせをいただきたいと思っております。

それと、2番目ですね。これも私も綾川全部、坂出の沖合まで見たわけじゃありませんけども、綾川町内においても、かなり中に土砂が堆積して、土砂自身も相当な量がありますし、そこに木とか竹とかですね、すごく生えていますし、堤側もかなりの量が、量の木とか竹ですね、雑草その他、いろいろありますけども、これはですねえ、やっぱこれも他の質問と関連しますけども、河道の断面積は狭めている大きな要因となりま

すし、武徳の沈下橋は架け替えする準備してはありますが、橋げたと橋脚に引っ掛かる原因になりますので、もう少し、頻繁に、予算との関連もありますけども、先ほどのチェックと兼ねまして、白髪淵のチェックを兼ねまして、河川の中州とか、岸の雑木等の伐採、もう少し注力してやっていただきたいので、今後の計画を含めてちょっとお聞かせをお願いします。

それと3番目の武徳の沈下橋ですけども、これは架け替え後は完全に撤去するというので、もう少しは安心してはありますが、県もですね、いろいろ十分な設計はされてると思うんですけども、やはり現状の武徳の沈下橋の、今までの実績を見るとかなりちょっともう、木といっても小さい木じゃなくて大きい木が、幹ごと引っかかっているようなそういうときもありましたし、かなり危険なんで、新しい橋ができてはですね、橋げたの数とか断面積とかによっては、危険な状況にもなりかねないので、町としても県へ申し入れというか、町自身のチェックも含めて、今後の架け替え後の橋脚、橋台、数、形状も含めて、町としても、どのように考えてるのかももう少し具体的に聞かせていただきたいということでもあります。

それと4番目の有毒物質とかの、現時点では確認されていないというような返答を伺いましたが、長柄ダムですね、長柄湖に、注ぎ込む西長柄川とかですね。この辺も当然、長柄湖の、水質の現状に大きく影響しますので、池の方も年3回継続的にやられているということですが、特に西長柄川流入部付近とか、ごみが浮いてたりしたことあったんですけども、もう少し特に今度再開発終わりましたら、面積が大きくなりますので、チェックポイントも頻繁にちょっとふやして、チェックの頻度をもう少しふやしていただきたいということと、西長柄川もかなり流域に、固有名詞は挙げませんが、産業廃棄物業者も近いですし、13メートル水位が上がっていることはなかなかないと思うんですけども、13メートル上がった場合はかなり水没しますので、もう少し、個人が勝手にしてるのはこれはなかなか把握難しいと思うんですけども、業者に対して、どのように現在、先ほど法律に従ってという話もありましたけども、もう少し、要するに具体的にどういうふうな指示をしてるのかということをお聞かせ願いたいということと、4番を含めて、あんまりこれ言いたくないんですけども、一部ですけども、行政府の一部、執行部の一部、立法府の一部、業者の一部ですね、不適切な情報が、もう私も聞いておりますし、町内へ少しずつもう広がってきてるように、私も把握しておりますので、町民に疑念を持たれないように透明性のある、業者指導をし、行政をやっていただきたいと、これは要望というか、注意ですけども、以上について、再度お聞かせをお願いします。

○建設課長兼長柄ダム再開発事業推進室長（田岡）はい、議長。

○議長（河野）田岡建設課長。

○建設課長兼長柄ダム再開発事業推進室長（田岡）失礼をいたします。井上議員の再質問の方にお答えをさせていただきます。

まず1点目の白髪淵での逆流、これに対して今後、十分に町としても調査なり、内容の検証をとということでございますが、現時点で、町といたしましては、この検証等は考

えてはございません。今の時点ではですね、町長答弁にもございました通り、事前放流の運用が始まってございます。この密接なダム間連携につきまして、県と水道企業団、こちらの方に求めてまいりたいというふうに考えております。

次に河床整理ですとか、伐竹ですかね、河川内・河道内の伐竹の計画的な実施ということでございます。

これにつきましては、伐木につきましては、平成30年から令和5年まで継続的に場所を変えてですけれども実施をしてございます。

また、掘削につきましても、平成25年と平成27年から平成30年までの間、またですね令和4年度、この期間において、こちらも場所を変えて行っておるところでございます。

これにつきましては引き続き、県に対して計画的な維持管理、これをお願いをしてまいりたい、要望してまいりたいというふうに思っております。

河道の幅が足りなくなる、ダムばかりが大きくなって河道幅が足りなくなるよというようなご指摘もございましたけれども、綾川水系の河川整備計画におきましては、概ね70年に1回程度発生する規模の洪水を、安全に流下させることを目標といたしまして、計画ではですね、府中ダムの上流の滝宮橋付近から綾上橋、この付近までの約5.8キロメートルの区間。こちらを毎秒790立方メートルの洪水を安全に流下させることを目標に改修を行うといった計画となっております。

この計画に基づき、今、ことでん鉄道橋の方から上流にかけて、工事を進めておるといふふうに考えておりますので、こうした整備をいち早く完了させることによって、白髪淵における逆流ですとか、正常な流下の維持、こういったものにも資するものであるというふうに考えております。

次に、新しい橋、武徳橋に対する町の考えでございますけれども、町長答弁にもございました、河川管理施設等構造令、こちらにつきましては、河川法に基づきまして、河川管理施設ですとか、許可工作物のうち、橋梁などの主要なものの構造につきまして、河川管理上必要とされる安全確保。このための基準値を定めておるものでございまして、これに基づく設計で、新しい橋はこれに基づいて設計をされておるといふことでございますので、その辺りは問題はないものというふうに考えております。

また西長柄川での水質、検査の強化ですとか、業者への指導についてでございますけれども、こちらにつきましては、西長柄川の水質検査についてはですね、町の方でも年2回、検査を行っております。そうした水質検査の結果、これに引き続き注視をしてまいりたいと考えております。

業者に対しましては、当然のことながら、法に基づく適正な運用を引き続き指導してまいりたいというふうに考えておりますので、ご理解をいただければと思います。

以上で井上議員の再質問へのお答えといたします。よろしくお願いたします。

○議長（河野） 再々質問はございませんか。

○13番（井上） はい、あります。

○13番(井上) さきほど1番関連で白髪淵の検証・検討は予定してないということでしたが、現場見てるとですね牛川、羽床上の方からずっと流れてきて、あそこはちょうど上にゲートボールの練習場があるんですけども、そこに回るまでの水流が2つに分かれてて、特に南側の方ですね、まっすぐ直進したような壁にぶつかるような感じになってるんですね。

そこで水がものすごい盛り上がって、町道浦山宮武線でしたかね、あそこで溢水をしそうになるんで、予定はしてないということで、紋切り型のような答弁じゃなくてももう少し、チェックしに行ってどうなるものでもないかもしれませんが、もう少し十分に調査を、調査というか、デイリーチェックをして、デイリーまでいなくても大雨のときは検討していただかないと、チェックをしに行っていたいただければと思います。

2番に関連して、綾川の堤の嵩上げのところです、引堤の計画もちょっとお聞きして、全部言いませんけど、引堤の計画とかもお聞きしてるんですけども、あれが、回答がなかったので、再度お答えをいただきたいと思います。

それと、4番に関連して、私も4、5年ぐらい前でしたかね、町道西長柄線を全部チェック、チェックというか自分の感覚でチェックしたんですけども、先ほど申しました会社の設備の近辺ですね、何月ごろか忘れちゃったけども、車から降りたら、この辺の方言でいう鼻がもげるようなですね、相当の強烈な異臭がしてまして、設備の下に西長柄川に、流れ込む配管、排水用の、30センチはくだらんと思うんですけども、下がトンネル、トンネルというか、パイプの下は真っ黒けで、一部ちよろちよろ流れとったかちよっと記憶定かでないんですけども、先ほど年に3回ぐらい何かチェックされてると聞きましたが、およそあれを人体に無害とか、問題ないとかいえる状況じゃないと思うんですけども、町の方でも、いろんな町道とかチェックをされてると思うんですが、西長柄、別に、本件、西長柄線に限ったことじゃないんですけども、長柄ダム関連で聞いてるんで仕方なし言ってるんですけども。長柄川の水質ところです、もう少し、これはあの辺もっと重点的にですね、頻度も、程度も上げてチェックしないといけないと思うんですけども。現状西長柄川の町道チェックも、そこ走ってですね、西長柄川の状況とか、どれぐらい頻度とチェックされてるかその辺を、再度伺いたいと思いますよろしくお願いします。

○議長(河野) 田岡建設課長。

○建設課長兼長柄ダム再開発事業推進室長(田岡) 井上議員の再々質問にお答えをいたします。

白髪淵付近のですね、大雨時での十分なチェックを、ということでございますけれども、当然のことながら、大雨時ですとか、ダムの放流時、こちらに関しましては、武徳橋、こちらは通行ができなくなりますことから、町の職員において、通行止め等の措置を行っております。

その際には、河川の状況なども見まして、防災部局との連携もとりながら、安全の確保に努めておりますし、今後もそういった対応をとらさしていただきたいというふう

に考えております。

引提の具体的な計画ということでございますけれども、これにつきましては、箇所ごとに断面ですとか、堤体の高さ、こういったものは変わってまいります。

先ほども申しました、70年に1度の大雨時、この雨量、水量を、安全に流下させる、このために、引提ですとか、護岸の整備、これを行うという計画になってございます。

3点目につきまして、西長柄川の水質のチェックでございますが、これ町の方では、2回ほど、年に2回ほど水質検査の方を行っております。この結果につきましては、当然のことながら、公表をさせていただいておりますし、その内容に異常がある場合には、速やかに適正な措置をとってまいりますものというふうに考えております。

またですね、町道の西長柄線の点検の際に、同じく水質のチェックを、ということでございますけれども、水質チェックに関しましては、必要な機材等々もございまして、目視だけでは本当に水質というものは、チェックというのができないものだというふうに考えております。こういったことから、道路パトロールと合わせた形での河川の状態のチェックっていうことは、現在のところは考えてございません。

以上で井上議員の再々質問へのお答えといたします。

○議長（河野） 以上で、井上君の一般質問を終わります。

○議長（河野） ここで、暫時休憩といたします。

○13番（井上） 町民に疑念を持たれないようにひとつ、よろしく申し上げます。